

小児外科

▶ 地域に根ざした医療を提供します

小児外科は生まれたての赤ちゃんから中学生までを対象に、腹部、胸部、泌尿器、体表などの疾患に外科的治療を行う診療科です。

当院は練馬、周辺を含めて唯一の小児外科施設であり、練馬区はもちろん杉並区、西東京エリア、埼玉県南部など広域から患者さんが来院されます。

常勤医師



浦尾正彦
(科長)



田中奈々

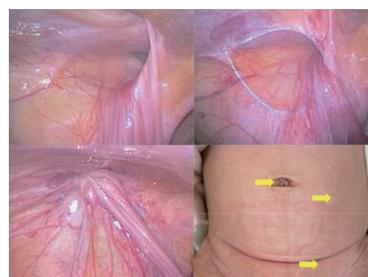


矢崎悠太

▶ 安心・誠実な医療を心がけています

当院では患者であるお子様やご家族が安心して治療を受けられるよう、安全かつ質の高い医療を提供することを目指しています。

患者さんへの負担を減らすべく、腹腔鏡や膀胱鏡などの低侵襲手術を積極的に取り入れており、鼠径ヘルニア（脱腸）や虫垂炎などは全例腹腔鏡で行なっています。



● 腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（LPEC法）
腹腔鏡と特殊な針を用いてヘルニアの袋を閉鎖します。
術後の傷はほとんど残りません。（右下）

▶ 先進的な医療を目指します



成人では一般的になりつつあるロボット手術ですが、小児で実施している施設は全国的にもほとんどありません。

当院では2021年12月から小児ロボット手術を導入しており、主に水腎症（腎盂尿管移行部狭窄症）のお子様にとって、非常に有効な治療法となっています。

受診希望の方は紹介状をご用意の上、予約センター（03-5923-3240）までお電話ください。

